

# 早期景気観測調査

【10-11月期調査結果報告書】

令和6年12月



甲府商工会議所

## ◆調査要領

1. 調査の目的 : 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関 : 甲府商工会議所
3. 調査実施時期 : 令和6年11月15日(金)～11月29日(金)
4. 調査対象 : 当所会員 115 事業所
5. 調査方法 : ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数 : 80 件
7. 有効回答率 : 69.6 %
8. 特記事項 : 原則、小数点以下第二位で四捨五入

## ◆結果概要

【10-11月期の動き】

**全体業況は ▲ 1.3 と5期振りの悪化。  
全体的に悪化傾向。人手不足は若干の改善  
向こう3ヶ月の業況は ▲ 13.8 と悪化する見通し。**

10-11月期の全業種総合の業況DIは、▲1.3（前期比8.5ポイント減）と、5期振りの悪化となった。仕入単価DIは▲67.5（前期比2.3ポイント減）と全体的に悪化。従業員DIは33.8（前期比3.9ポイント減）と従業員の不足が発生しているが前期よりも改善が見られた。向こう3か月の業況は▲13.8と悪化する見通し。

業種別は以下の通り。

●製造業：業況DI **悪化**（▲5.6：前期比 **12.3** ポイントの減少）  
改善： なし 悪化： 売上DI 採算DI 仕入単価DI 従業員DI  
不変： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、▲**33.3** と悪化する見通し。

●建設業：業況DI **改善**（0.0：前期比 7.7 ポイントの増加）  
改善： 売上DI 採算DI 仕入単価DI 悪化： 従業員DI  
不変： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、▲**6.3** と悪化する見通し。

●卸売業：業況DI **悪化**（▲25.0：前期比 **39.3** ポイントの減少）  
改善： 仕入単価DI 従業員DI 悪化： 売上DI 採算DI 金融貸出しDI  
不変： なし

向こう3ヶ月の先行き業況は、▲**6.3** と改善する見通し。

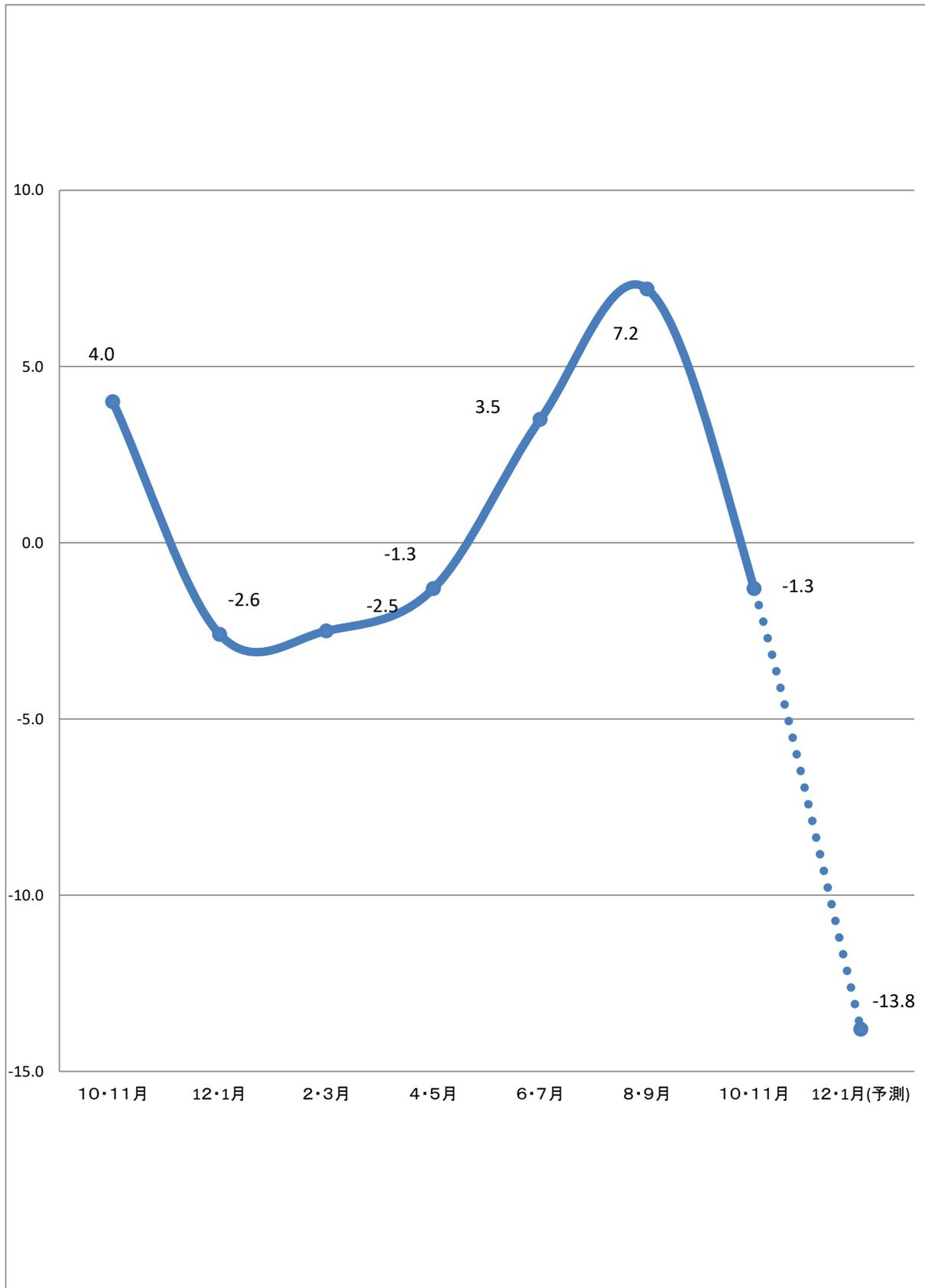
●小売業：業況DI **改善**（▲5.9：前期比 6.6 ポイントの増加）  
改善： 従業員DI 悪化： 採算DI 仕入単価DI 金融貸出しDI  
不変： 売上DI

向こう3ヶ月の先行き業況は、▲**11.8** と悪化する見通し。

●サービス業：業況DI **悪化**（38.5：前期比 **7.0** ポイントの減少）  
改善： 従業員DI 悪化： 売上DI 採算DI 仕入単価DI 金融貸出しDI  
不変： なし

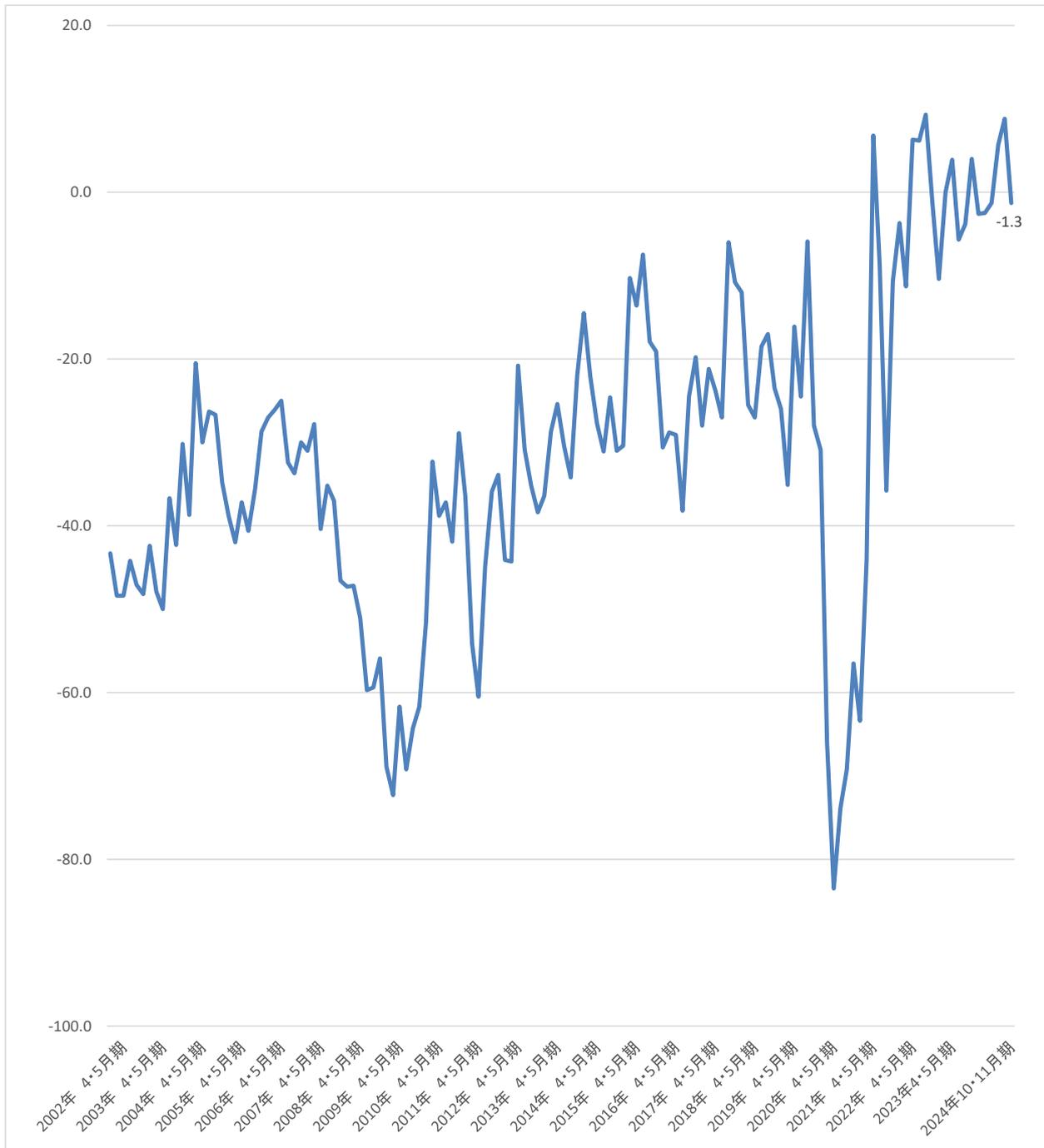
向こう3ヶ月の先行き業況は、▲**7.7** と悪化する見通し。

# 業況DIの推移



# 業況DIの推移

(2002年4・5月期 ~ 2024年10・11月期)

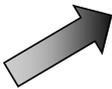
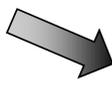


## ◆全業種・業種別詳細

### ※ D I 値（景況判断指数）について

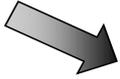
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

## ◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↘」（改善）と表示しております。  
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

## ◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 1.3	▲ 13.8	12.5	▲ 26.3	▲ 67.5	33.8	▲ 1.3

全業種総合の業況DIは、 **▲ 1.3** （前期比 **8.5** ポイントの減少）となった。

### ●項目別(前期比)

売上DI:悪化 ( 15.9 → 12.5 )      従業員DI:悪化 ( 37.7 → 33.8 )

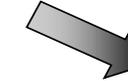
採算DI:悪化 ( ▲ 4.3 → ▲ 26.3 )      金融貸出しDI:悪化 ( 2.9 → ▲ 1.3 )

仕入単価DI:悪化 ( ▲ 65.2 → ▲ 67.5 )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 13.8** と悪化する見通し。

## ◆業種別

### ○製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 5.6	▲ 33.3	▲ 11.1	▲ 33.3	▲ 77.8	0.0	0.0

製造業の業況DIは、 ▲ 5.6 (前期比 12.3 ポイントの減少)となった。

#### ●項目別(前期比)

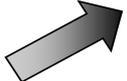
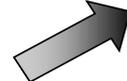
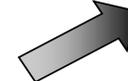
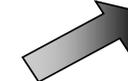
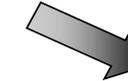
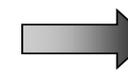
売上DI:悪化 ( 6.7 → ▲ 11.1 )      従業員DI:悪化 ( 13.3 → 0.0 )

採算DI:悪化 ( ▲ 13.3 → ▲ 33.3 )      金融貸出しDI:不変 ( 0.0 → 0.0 )

仕入単価DI:悪化 ( ▲ 46.7 → ▲ 77.8 )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 33.3 と悪化する見通し。

### ○建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
0.0	▲ 6.3	6.3	▲ 18.8	▲ 56.3	43.8	0.0

建設業の業況DIは、 0.0 (前期比 7.7 ポイントの増加)となった。

#### ●項目別(前期比)

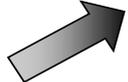
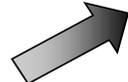
売上DI:改善 ( ▲ 7.7 → 6.3 )      従業員DI:悪化 ( 69.2 → 43.8 )

採算DI:改善 ( ▲ 23.1 → ▲ 18.8 )      金融貸出しDI:不変 ( 0.0 → 0.0 )

仕入単価DI:改善 ( ▲ 69.2 → ▲ 56.3 )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 6.3 と悪化する見通し。

○卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 25.0	▲ 6.3	37.5	▲ 31.3	▲ 62.5	50.0	0.0

卸売業の業況DIは、 **▲ 25.0** (前期比 **39.3** ポイントの減少)となった。

●項目別(前期比)

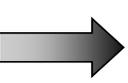
売上DI:悪化 ( 42.9 → 37.5 ) 従業員DI:改善 ( 42.9 → 50.0 )

採算DI:悪化 ( 7.1 → ▲ 31.3 ) 金融貸出しDI:悪化 ( 7.1 → 0.0 )

仕入単価DI:改善 ( ▲ 78.6 → ▲ 62.5 )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 6.3** と改善する見通し。

○小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 5.9	▲ 11.8	0.0	▲ 35.3	▲ 52.9	29.4	▲ 5.9

小売業の業況DIは、 **▲ 5.9** (前期比 **6.6** ポイントの増加)となった。

●項目別(前期比)

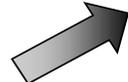
売上DI:不変 ( 0.0 → 0.0 ) 従業員DI:改善 ( 25.0 → 29.4 )

採算DI:悪化 ( ▲ 12.5 → ▲ 35.3 ) 金融貸出しDI:悪化 ( 0.0 → ▲ 5.9 )

仕入単価DI:悪化 ( ▲ 50.0 → ▲ 52.9 )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 11.8** と悪化する見通し。

○サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
38.5	▲ 7.7	38.5	▲ 7.7	▲ 92.3	53.8	0.0

サービス業の業況DIは、 38.5 (前期比 7.0 ポイントの減少)となった。

●項目別(前期比)

売上DI:悪化 ( 45.5 → 38.5 ) 従業員DI:改善 ( 45.5 → 53.8 )

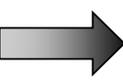
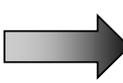
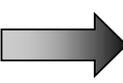
採算DI:悪化 ( 27.3 → ▲ 7.7 ) 金融貸出しDI:悪化 ( 9.1 → 0.0 )

仕入単価DI:悪化 ( ▲ 90.9 → ▲ 92.3 )

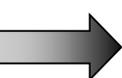
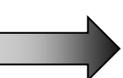
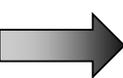
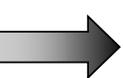
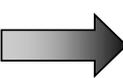
向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 7.7 と悪化する見通し。

## ◆業種別詳細

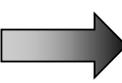
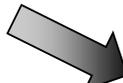
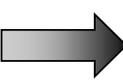
### ○製造業(食品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

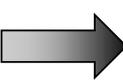
### ○製造業(工業製品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

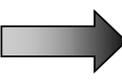
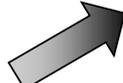
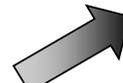
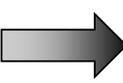
### ○製造業(宝飾)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

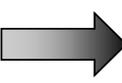
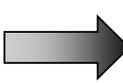
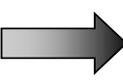
### ○建設業(建築)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

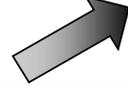
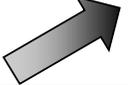
### ○建設業(土木)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

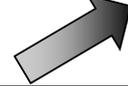
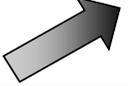
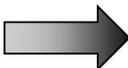
### ○建設業(鉄鋼)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

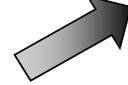
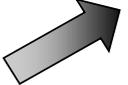
○卸売業(食品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

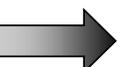
○卸売業(繊維)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

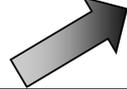
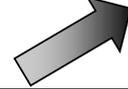
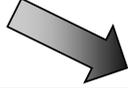
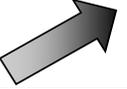
○卸売業(その他)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

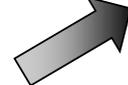
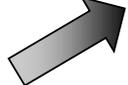
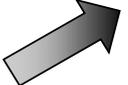
○小売業(大型店)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

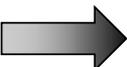
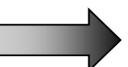
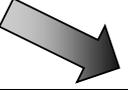
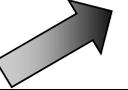
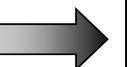
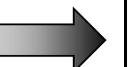
○小売業(食品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

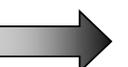
○小売業(事務用品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

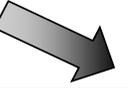
○小売業(趣味・日用品)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

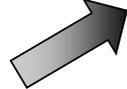
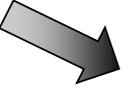
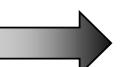
○サービス業(ホテル・旅館)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

○サービス業(観光)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

○サービス業(飲食その他)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

## ◆中小企業の声(現状や直面している課題等)

### 【製造業】

#### 製造業(繊維)

- ・コロナ禍よりも今年の市場の反応は良くない。今年の暖冬の影響が秋冬物の出足を鈍いものしている。気温が下がるにつれて、好転の兆しを感じられる。

#### 製造業(食品)

- ・ホテル、ブライダルを主体とした秋商戦及び年末商戦としてのおせち、ギフト関連の予約は低調。あらゆる物価の上昇による可処分所得の減少が要因だと推測。最低賃金上昇と原料価格上昇でさらに厳しい状況。

#### 製造業(宝飾)

- ・継続する円安の影響や、地金の高騰による影響を受けた。
- ・業界の性質上、国民の可処分所得が増えなければ、業況は好転しない。直近で退職者が出る予定であり、受けられない案件が出てくる関係で収益がマイナスに振れる可能性がある。
- ・円安の影響で仕入単価が上昇した上、取引先への納入率も悪化。一般消費者の相場感は昨今の物価上昇についてこれず、そのギャップで業界全体の業績が悪化している。

#### 製造業(工業製品)

- ・売上は昨年同様堅調に推移、北米向けは好調。仕入単価の上昇も落ち着きつつある。

### 【建設業】

#### 建設業(鉄鋼)

- ・受注量やや先細り、仕入単価不変、納期変わらず遅れ気味

#### 建設業(土木)

- ・従業員及び職人不足が響き工事が施工できない。引き合いは増加している。

#### 建設業(建築)

- ・働き方改革の影響が運送業に色濃く反映されており、地方の倉庫等の物流拠点の案件が多い。
- ・従来の工法をメーカーのパッケージ製品で仕上げる様な案件が人手不足、働き方改革の影響として顕著である。

### 【卸売業】

#### 卸売業(食品)

- ・食品の値上げが続き、人手不足
- ・物価高が続き、要因として漁獲減少、円安によるコスト増

### 【小売業】

- ・対前年より相手先の業況は良好
- ・仕入単価上昇による売価改定、競争激化が見られる。従業員は新規雇用が難しい。

#### 小売業(趣味)

- ・コロナ禍が終息し、一時人流改善したがまた一段と客足が遠のいた。

#### 小売業(大型店)

- ・10月は昨年地域振興券の影響があり昨年比苦戦。11月は気温低下と販促効果で大幅上昇
- ・昨年同月と比較し例年のイベントが開催されていないことがマイナス要因だが、新たな催しもあり県外の来客増につながった。前年比101.3%。11月は幸先よくヌーボーは好調。

#### 小売業(食料品)

### 【サービス業】

#### サービス業(観光)

- ・バス、タクシーの乗務員充足を引き続き実施中
- ・紅葉シーズンの遅れはあるものの秋の行楽客及びインバウンド層の流入に期待。
- ・観光需要はコロナ前の水準に回復。値上げのため一定の採算が取れたが仕入単価、人件費も増えた。

#### サービス業(ホテル・旅館)

- ・物価上昇が止まらない

#### サービス業(飲食)

- ・大幅な好転ではないが、予約ベースで堅調を維持
- ・食材の値上がりが厳しく価格転嫁が限られており採算は悪化している。